

# 岡山市第六次総合計画 (前期中期計画)

未来へ躍動する 桃太郎のまち岡山

## 桃太郎のまちづくりレポート 2020

### 目 次

- 前期中期計画の取組状況（平成 28 年度～令和 2 年度） …… 1
- 区別計画の取組状況（平成 28 年度～令和 2 年度） …… 15

令和 4 年 1 月

岡山市

# 岡山市第六次総合計画 前期中期計画の取組状況について

前期中期計画（平成28年度から令和2年度まで）5年間における成果指標の達成状況について評価を実施

- 81の指標のうち、約7割にあたる61の指標で目標達成または上昇（75%）。うち33の指標で目標達成（41%）
- 一方で、18の指標で低下（23%）。うち11の指標が新型コロナウイルス感染症の影響（14%）

## 《評価基準》

◎目標達成：目標値の水準に到達

○上昇：基準値に対し上昇

△横ばい：基準値に対し横ばい（変動率±0.5%の範囲内）

×低下：基準値に対し低下

区分	◎ 目標達成	○ 上昇	△ 横ばい	× 低下		合計
				コロナ	その他	
I 経済・交流都市	10	6	0	8	3	27
II 子育て・教育都市	7	13	1	2	2	25
III 健康福祉・環境都市	12	9	0	1	2	24
都市経営	4	0	1	0	0	5
計	33 (41%)	28 (34%)	2 (2%)	11 (14%)	7 (9%)	81 ※

※「人口集中地区（DID）人口密度」については今後数値が公表される予定

## 目標達成した主な指標

- 企業立地・再投資件数 8件（H27） → 66件（H28-R2計）
- 生活交通導入地区数 0地区（H27） → 6地区（R2）
- 男性も女性も仕事と家庭を両立できるのがよいと考える市民の割合 82.4%（H27） → 85.3%（R1）
- 生涯現役応援センターに活動希望の登録を行った高齢者数 61人（H27） → 616人（R2）
- 温室効果ガス排出量 6,476千t-CO<sub>2</sub>（H25） → 5,850千t-CO<sub>2</sub>（H30）

## 低下した主な指標

- JR岡山駅乗降客数 13.2万人（H27） → 9.4万人（R2）
- 観光入込客数 7,577千人（H27） → 3,049千人（R2）
- 市立図書館の市民1人当たりの年間貸出冊数 6.3冊（H27） → 5.4冊（R2）
- 多様な主体による自然体験プログラム開催数 420回（H27） → 239回（R2）

# 岡山市第六次総合計画 前期中期計画の取組状況①

## 将来都市像Ⅰ 中四国をリードし、活力と創造性あふれる「経済・交流都市」

政策	指標名(単位)	基準値 (H27)	実績値		目標値 (R2)	達成 状況	コメント
			年	値			
1 産業	①市内就業者数(人)	370,783(新) 362,044(旧) (H25)	H30	390,436	381,000(新) 374,000(旧) (H30)	◎	就業者数は増加傾向にあり、目標値を達成した。景気状況や様々な産業に関する市の施策の取り組みも増加要因の一つと考えられる。 ※指標となる市民経済計算の推計結果が大幅に遡及改訂されたため、平成29年度取組実績から基準値及び目標値を修正。
	②開業率(%)	5.5	R2	5.1	6.6	×	全国的に平成30年度・令和元年度は開業率が低下し、令和2年度は上昇しており、市も同様の傾向を示している。市の開業率は全国の開業率を上回っており、商工団体や産業振興財団などの関係機関と連携し、市全体として創業支援に取り組んでいる。なお、開業率は様々な要因で変動することから、市の施策効果の検証が困難なため、後期中期計画においてはより適切に評価できる「市の創業支援による創業者数」に指標を変更する。
	③企業立地・再投資件数(件)	8	R2	66 (H28-R2計)	75(新) 33(旧) (H28-R2計)	◎	本社・中四国支店等の各種補助制度の創設や拡充、空港南産業団地の整備のほか、アンケート調査を通じた企業訪問など、様々な機会を捉えた効果的な企業誘致活動を実施した結果、件数が順調に推移し、企業立地を推進した。なお、平成29年度の実績値を踏まえ、当初の目標値を上方修正した。
2 中心市街地	①快適で賑わいのある都心づくりの満足度(%)	20.4	R1	32.3	23 (R1)	◎	中心市街地における魅力創出や賑わいづくりに向けた環境整備やイベントの実施等により満足度が向上したものと考えられる。
	②中心市街地の歩行者通行量(人) 上段:平日 下段:休日	3,925 5,405	H29	4,324 5,654	4,400 5,700 (R1)	○	平成29年度の通行量は、基準値より上昇し、目標値に近い数値に達した。商店街活性化支援や岡山市商店会連合会の集客イベントへの共催協力等が中心市街地の魅力と集客力向上に繋がり、通行量増加の一因となったものと考えられる。
	③JR岡山駅乗降客数 (1日当たり)(万人)	13.2	R2	9.4	14.3	×	岡山駅西口整備、駅バス時刻表の設置、岡山駅バス乗り場再編等を行うことにより岡山駅の結節点機能強化が図られたことも要因となり、目標値に向け、上昇傾向であったが、令和2年度は新型コロナウイルスの影響を受け大幅に低下した。
3 農林水産業	①新規就農者数(人)	27	R2	25	40	×	農業次世代人材投資事業や就農相談などの就農支援の取組により、令和元年度まではほぼ順調に伸びてきていたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により就農相談会の開催、参加ができないなど就農促進事業が十分には行えなかったことも影響し、新規就農者数の減少を招いた。
	②担い手への農地集積率(%)	25.3	R2	39.3	37.5	◎	機構集積協力金や担い手への規模拡大奨励金などの取組により、担い手への農地集積が着実に進んでいる。
	③多面的機能制度取組面積(ha)	2,609	R2	3,542	7,025	○	制度開始(H26)当初の増加面積に基づき目標値を設定し、地域単位で説明会を開いて(延べ78回)制度の周知を図ったが、活動組織の立ち上げに至らない地域が多く、目標値は達成できなかった。市内対象地域への制度周知を終えていることから、後期中期計画においては現在取り組んでいる地区の取組継続に向けた支援と新規地区の増加を図ることとした。
	④岡山産の野菜・果物等の購入を意識している市民の割合(%)	56.4	R1	59.5	65 (R1)	○	地産地消のイベントや地産地消バスツアーの開催等により啓発を図ったことから上昇したが、地産地消の機運を大きく盛り上げるまでには至らなかったため目標値は達成できなかった。

《評価基準》◎目標達成 ○上昇 △横ばい ×低下 ※目標達成により目標値を見直した指標は、◎目標達成として評価

# 岡山市第六次総合計画 前期中期計画の取組状況②

## 将来都市像Ⅰ 中四国をリードし、活力と創造性あふれる「経済・交流都市」

政策	指標名(単位)	基準値(H27)	実績値		目標値(R2)	達成状況	コメント
			年	値			
4 観光・交流	①観光入込客数(千人)	7,577	R2	3,049	9,487	×	デスティネーションキャンペーンを実施した平成28年をピークに近年横ばいで推移している。令和2年度については、新型コロナウイルスの影響により、観光客数は大きく減少した。今後は情報発信や基本的な感染対策を実施した上で工夫を凝らしたイベントの開催などコロナ禍に応じた事業を実施するとともに、地域の資源の掘り起しやそれを活用した新しい魅力づくりを行う。また、令和4年度に予定されている岡山デスティネーションキャンペーンや岡山城のリニューアルなどの大規模イベントや文化財を活用した観光誘客事業により、コロナ後の観光誘客を図る。
	②コンベンション参加者数(人)	152,296	R2	14,810	207,000	×	岡山市・おかやま観光コンベンション協会・岡山コンベンションセンターの三位一体による誘致活動により基準値を超えて推移していたが、近年は平成30年7月豪雨や新型コロナウイルスといった外的要因の影響を受けている。今後はオンラインやハイブリッド等の様々な開催形態に対応できるような体制を整える等、変化に応じた積極的な誘致活動を行う。
	③転入超過者数(人)	883 ※過去10年間(H17～26)の平均	R2	706	1,000	×	移住相談会や下見ツアー、東京への移住相談窓口設置等を実施したが、転入超過者数は東京一極集中等を背景に減少し、目標達成には至らなかった。転入超過者数の成果指標は、指標の変動が外部要因に大きく依存しており、施策の評価が困難なため、後期中期計画では転入超過者数ではなく、施策の効果をより分かりやすく測ることができるよう、移住定住支援により移住した人数とする。
5 周辺地域・都市	①都市としての便利さと自然の豊かさとの調和の満足度(%)	30.8	R1	37.8	32(R1)	◎	都心での市街地再開発事業等の活発な民間開発や、岡山操車場跡地での整備が進行するとともに、景観形成重点地区の拡充や水と緑の空間づくりへの取組の推進、公共交通を中心とする交通ネットワークの構築など、様々な取組を行ったことにより、満足度が向上したと考えられる。
	②人口集中地区(DID)人口密度(人/ha)	60	R2	今後公表予定	61	-	現時点で実績値の確認はできないため、実績値が確定した段階で評価を行う。
6 交通	①JR市内全駅乗車数(1日当たり)(万人)	10.9	R2	8.5	11.7	×	新駅設置、改札増設、駅前広場整備等を行うことにより鉄道駅の利用促進が図られたため、目標値に向け上昇傾向であったが、令和2年度は新型コロナウイルスの影響を受け大幅に減少した。
	②主要バス路線利用者数(1日当たり)(人)	31,500	R2	24,612	31,500	×	駅バス時刻表の設置、岡山駅バス乗り場再編、低床車両の台数増強等を行うことによりバスの利便性向上が図られたため、ほぼ横ばい状態で推移していたが、令和2年度は新型コロナウイルスの影響を受け大幅に減少した。
	③生活交通導入地区数(試行運転開始地区を含む)(地区)	-	R2	6	4	◎	庁内の関係部署や地元積極的に生活交通の情報提供を行うことにより導入促進が図られたため、目標を上回る地区で生活交通を導入することができた。
	④自転車利用環境の整備に対する満足度(%)	15.5	R1	23.8	22(R1)	◎	平成24年度に策定した「自転車先進都市おかやま実行戦略」に基づき、自転車走行空間整備、駐輪場整備等の各施策を進めることで一定の満足度を得られることが出来た。

《評価基準》◎目標達成 ○上昇 △横ばい ×低下 ※目標達成により目標値を見直した指標は、◎目標達成として評価

# 岡山市第六次総合計画 前期中期計画の取組状況③

## 将来都市像Ⅰ 中四国をリードし、活力と創造性あふれる「経済・交流都市」

政策	指標名(単位)	基準値 (H27)	実績値		目標値 (R2)	達成 状況	コメント
			年	値			
6 交通	⑤主要渋滞箇所数(箇所)	42	R2	41	39	○	市街地への流入交通の分散・誘導や通過交通の排除による渋滞緩和のため、外・中環状道路や幹線道路の整備など道路ネットワークの充実・強化に取組み、主要渋滞箇所が1箇所減少するなど効果は徐々に現れている。しかし、用地取得に時間を要するなど道路整備は長期にわたることから、多くは供用に至っておらず目標値には達していない。引き続き財源を確保しながら、効率的・効果的な道路整備を進める必要がある。
7 景観・住環境	①美しい都市景観の形成に対する満足度(%)	26.7	R1	31.2	28 (R1)	◎	新たな景観形成重点地区及び屋外広告モデル地区の指定など、景観形成に向けた取組を推進したことにより、満足度が向上したと考えられる。
	②公園・緑地の整備や緑化の推進に対する満足度(%)	40.8	R1	34.9	44 (R1)	×	平成29年度に下落に転じたものの令和元年度に再度上昇に転じている。現在中心市街地の街路樹再生や岡山西部総合公園(仮称)の整備に取り組んでおり、引き続き街路樹や公園樹木のボリュームアップ・質の向上など、住民に身近な取り組みを通じて満足度の向上を図る。
	③住宅や住環境の整備に対する満足度(%)	18.4	R1	30.8	20 (R1)	◎	岡山市住生活基本計画や岡山市営住宅等長寿命化計画に基づき市営住宅等を基本とする住宅セーフティネットの充実と住環境の整備に努めたこと及び岡山市空家等対策計画に基づき空家対策について事業を進めたことにより、目標を達成した。
8 歴史・文化	①歴史・文化ゾーン来訪者数(万人)	316	R2	156	336	×	集客イベントの実施等により来訪者は増加傾向にあったが、平成30年は平成30年7月豪雨による観光客の減少、令和元年度以降は新型コロナウイルス感染症禍における各施設の休館や外出自粛等の影響により来訪者数が減少し、目標は達成できなかった。
	②文化財施設・講演会等への来訪者数(人)	46,815	R2	42,861	47,300	×	来訪者数は、天候等の自然現象に大きく左右されることもある。また、令和元年度は新型コロナウイルス感染症の流行等により、基準値より低下している。令和2年度も同様であり、目標値達成とはならなかった。
9 文化芸術	①過去1年間に文化芸術を体験(参加・鑑賞)した人の割合(%)	45.2	R1	57.3	60 (R1)	○	多少の増減があるものの、基準値からは増加し概ね順調に推移している。これは、岡山芸術交流、おかやま国際音楽祭、岡山市芸術祭等の開催や、小・中学校で子どもたちに文化体験の機会を提供するアウトリーチ事業等を展開するなど「文化芸術に親しむ事業」の各施策による成果と考える。ただし、新型コロナウイルスの影響を受けやすい指標であるため、今後の対策等が課題である。
	②文化活動の振興に対する満足度(%)	19.1	R1	30.6	25 (R1)	◎	目標値の水準を達成することができた。これは、様々なイベントの実施をはじめ、各施策の地道な成果により文化芸術を体験した人の割合が増加したことも影響しているものと考えられる。ただし、新しい文化芸術施設「岡山芸術創造劇場」の整備に向けて大きく動いていた時期でもあり、市民の意識の中に期待とともに潜在していた回答結果である可能性は否めない。今後もさらなる施策の推進を図っていく必要がある。
10 スポーツ	①成人の週1回以上のスポーツ実施率(%)	34.3	R1	39.0	47 (R1)	○	トップチーム支援、おかやまマラソンの開催、一般財団法人岡山市スポーツ協会の育成・支援、東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプの実施など、スポーツ振興を図る事業を幅広く実施しており実績値が増加傾向ではあるものの、目標値には達していない。令和元年度「岡山市市民意識調査報告書」の年代別スポーツ実施率が、30歳代37.9%、40歳代39.6%となっており、他の年代層と比較して低い状況となっている。今後は、実施率の低い年代を中心に、スポーツ環境の整備に取り組む必要がある。

《評価基準》◎目標達成 ○上昇 △横ばい ×低下 ※目標達成により目標値を見直した指標は、◎目標達成として評価

# 岡山市第六次総合計画 前期中期計画の取組状況④

## 将来都市像Ⅱ 誰もがあこがれる充実の「子育て・教育都市」

政策	指標名(単位)	基準値(H27)	実績値		目標値(R2)	達成状況	コメント
			年	値			
11 子育て	①子育て支援・児童福祉の充実に対する満足度(%)	16.7	R1	20.5	30(R1)	○	当該指標(令和元年度岡山市市民意識調査)について、「満足・やや満足」と回答した人の割合は20.5%となり、基準値(平成27年度)より3.8%改善したが、目標値には届かなかった。保育所等の待機児童数や子どもの貧困等が注目されたことなどが影響したと思われ、子育て環境の充実をさらに進めていく必要がある。なお、当該指標については、後期中期計画では子育て世帯を対象とした「子ども・子育て支援に関するアンケート」の指標を採用し、実際に子育てをしている世帯に評価をしていただき、今後の施策に活かしていくこととしている。
	②保育所等の待機児童数(人)	729(H28.4.1)	R2	31(R3.4.1)	0(R3.4.1)	○	保育所等の待機児童数については、保育の受け皿整備と保育士確保が進んだことや、保育コンシェルジュによる寄り添う支援に力を入れた結果等により減少した。今後も引き続き待機児童0人を目標とし、事業を推進していく。
	③放課後児童クラブ入所希望児童(潜在ニーズを含む見込み)に対する入所できた児童の割合(%)	87.7(H28.4.1)	R2	78.8	100(R3.4.1)	×	「第2期子ども・子育て支援事業計画」策定にあたり見直した結果、入所希望児童数の見込みが前期計画よりも増加したため、基準値よりも悪化しているが、積極的な施設整備により、受入れ児童数は増加しており、昨年度よりも割合は改善している。引き続き、施設整備や人員確保支援等の取組を進めていく。
	④男性も女性も仕事と家庭を両立できるのがよいと考える市民の割合(%)	82.4	R1	85.3	85(R1)	◎	令和元年に85.3%となり、目標値の85%を達成した。市民の意識は浸透してきており、後期中期計画では市民意識を問う成果指標ではなく、市の施策の効果をより分かりやすく測ることができるよう、具体的な取組状況を成果指標(仕事と家庭の両立支援に取り組んでいる企業の割合)とする。
12 健全育成、自立	①心豊かな岡山っ子応援団賛助団員(団体)	11	R2	61	90(新) 60(旧)	◎	賛助団員の確保に向け事業の見直し及び広報活動等を行った結果、平成29年度に目標値を達成したため、目標値を上方修正したが、寄附金による賛助団員数が減少し、見直し後の目標は達成できなかった。
	②社会参加プログラムに参加して就職に至った発達障害者数(人)	-	R2	36(H28~R2計)	25(H28~R2計)	◎	社会参加プログラムへの参加が、就労への動機づけとなり、目標値である年間5人に達することができた。
	③里親等委託率(%)	13.3	R2	16.7	23	○	市民協働による里親制度等普及啓発事業などにより里親開拓に努めるなかで、里親登録数は着実に増加している。里親等委託率は少しずつ上昇を続けているが、目標値とは開きがある。引き続き里親等委託の推進を図っていく。
	④青少年の健全育成に対する満足度(%)	11.1	R1	17.2	20(R1)	○	関係機関及び団体等との連携による補導活動、相談活動、健全育成活動等の実施により青少年の健全育成に対する満足度は上昇したものの、目標値を達成できなかった。引き続き、関係機関等との連携を一層深めながら、より効果的な活動となるよう取り組んでいく。

《評価基準》◎目標達成 ○上昇 △横ばい ×低下 ※目標達成により目標値を見直した指標は、◎目標達成として評価

# 岡山市第六次総合計画 前期中期計画の取組状況⑤

## 将来都市像Ⅱ 誰もがあこがれる充実の「子育て・教育都市」

政策	指標名(単位)	基準値(H27)	実績値		目標値(R2)	達成状況	コメント
			年	値			
13 女性・若者	①市内企業等における管理的職業従事者に占める女性の割合(%)	10.7(H24)	H29	22.0	16(H29)	◎	企業や働く人を対象とする女性活躍の啓発事業を行っており、市内企業等における管理的職業従事者に占める女性の割合は、上昇している。後期中期計画では、指標をより実態に近い数値の把握ができる「岡山市女性活躍及びワーク・ライフ・バランスに関する調査」の値に変更する。
	②固定的な性別役割分担意識の解消度(%)	65.4	R1	67.3	73(R1)	○	前期中期計画では1年で2ポイントの増加を目指したが、4年間で2ポイントの増加にとどまった。さんかく岡山や公民館等での固定的な性別役割分担意識を見直すための講座の開催や固定的な性別役割分担意識解消のための啓発を行ったが、依然として根強く残っており、目標値に至らなかった。後期中期計画でも引き続き1年で2ポイントの増加を目指し、固定的な性別役割分担意識の解消に取り組んでいく。
	③若者(20歳代)の地域活動への参加割合(%)	17.9	R1	20.1	30(R1)	○	公民館での若者を対象とした講座の実施等により、基準値と比較して指標の数値は増加しているが、若者を対象にした地域活動への参加を促す取り組みが不十分であったため、目標値に届かなかった。今後は若者に向けて普及・啓発を進め、地域活動への参加を促す。
14 学校教育	①「学校に行くのが楽しい」と答えた子どもの割合(%)	小:85.8 中:83.5	R2	小:84.8 中:84.1	小:90 中:88	△	授業改善や学級集団づくりの推進等の取組により、基準値より小学校ではわずかに下降しているものの、中学校では上昇するという結果になった。小・中学校ともに肯定的な回答が8割を超えているものの否定的な回答も見られるため、今後も授業改善や学級集団づくり等の推進が必要である。
	②全国学力・学習状況調査のB問題(主として「活用」に関する問題)の偏差値	小6国語:50 小6算数:50 中3国語:48 中3数学:48	R1	小6国語:51 小6算数:50 中3国語:50 中3数学:50	小6国語:51 小6算数:51 中3国語:50 中3数学:50	○	令和元年度は、小学校の算数科が目標値を下回ったものの、授業改善の推進により、小学校、中学校ともに全国平均レベルの学力をおおむね達成することができた。令和2年度はコロナ対応のため調査は未実施。引き続き中学校区を単位とした学校園一貫教育の中で授業改善に資する取組を行い、学力の向上を図っていく。
	③「人が困っている時に進んで助けている」と答えた子どもの割合(%)	小:85.5 中:80.2	R2	小:86.0 中:85.6	小:92 中:90	○	道徳科の授業研究や講演会の実施等により、児童生徒が自分の考え方や生き方について改めて見つめ直したことで実生活での行動につながり、基準値に比べ上昇した。今後も道徳教育の充実や学級集団づくりの推進に継続して取り組んでいく。
	④1週間の総運動時間が60分以上の子どもの割合(%)	中2男子:91.9 中2女子:75.3	R1	中2男子:91.5 中2女子:77.3	中2男子:93 中2女子:79	○	目標値には達していないが、各学校の取組等により、経年の推移では男女ともにおおむね基準値を超えている。令和2年度はコロナ対応のため全国調査は未実施。今後は、これまでの学校中心の取組に加え、「家庭」と連携した取組の拡充も視野に入れた計画を推進していくことで、改善を目指す。
15 教育環境	①「子どもと向き合う時間が充足している」と答えた教職員の割合(%)	50.2(H28)	R2	55.9	60	○	目標値には達していないが、教職員の業務の精選や効率化が進み、基準値から割合が上昇した。引き続き、学校業務アシスト事業において、各校の有効な活用事例を共有するなどして、「子どもと向き合う時間」の確保や勤務負担軽減の効果をより高めていきたい。
	②全38中学校区のうち、地域協働学校に指定した中学校区数(中学校区)	30	R2	38	35	◎	未設置の学校園を訪問し、教職員や地域住民に対し地域協働学校の意義についての研修を実施したり、設置するまで丁寧に関わったりしたことにより平成31年度に初期の目標を達成した。

《評価基準》◎目標達成 ○上昇 △横ばい ×低下 ※目標達成により目標値を見直した指標は、◎目標達成として評価

# 岡山市第六次総合計画 前期中期計画の取組状況⑥

## 将来都市像Ⅱ 誰もがあこがれる充実の「子育て・教育都市」

政策	指標名(単位)	基準値(H27)	実績値		目標値(R2)	達成状況	コメント
			年	値			
16 生涯学習	①市立図書館の市民1人当たりの年間貸出冊数(冊/人)	6.3	R2	5.4	6.4	×	平成30年度から令和2年度にかけては、工事休館や新型コロナウイルス感染症拡大に伴う臨時休館等もあり、実績値が伸びなかったと思われる。今後は、コロナ後を見据えながら利用を戻していくよう取組をすすめる。
	②公民館主催講座・クラブ講座における利用延べ人数(人)	815,750	R2	384,961	816,000	×	平成31年3月に「岡山市立公民館基本方針」を策定し、新たな分野の主催事業に取り組むことにより、令和元年度は令和2年1月まで利用者が前年比で増加していたが、新型コロナウイルス感染症対策による利用制限や行事中止に伴い、利用人数が低迷し、目標を達成できなかった。
17 協働、ESD	①ESDプロジェクト参加団体数(団体)	246	R2	323	300(R1)	◎	持続可能な社会づくりへの関心の高まりや、岡山ESDプロジェクトの活動の積極的なPR等により、目標値を上回る数値を達成した。
	②地域活動への参加割合(%)	39.9	R1	45.3	52(R1)	○	フォーラムや講座の開催等により地域活動への参加割合は順調に増加しているが、若者や企業など多様な主体への働きかけが不十分であったため、目標値に届かなかった。今後引き続き、若者や企業など多様な主体に向けた普及・啓発を進め地域活動への参加を促す。
	③企業・NPO法人等が参加した安全・安心ネットワーク数(団体)	23	R2	40	50	○	活動事例報告会の開催など活動の学び合いや情報を共有する取組等によって、増加傾向にあったが、令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、安全・安心ネットワーク活動を含む地域活動等の中止や自粛がされたことから、目標値に届かなかった。活動再開後は、多様な主体に向けた普及・啓発を進め地域活動への参加を促す。
18 国際	①国際交流・国際化について満足している市民の割合(%)	11.1	R1	19.1	13(R1)	◎	新型コロナウイルス感染症拡大で国際交流に影響は生じたものの、オンラインも活用しながら、市民や民間の参加を主体とした国際友好交流都市・地域を中心とする国際交流事業の幅広い実施により、目標値を達成した。
	②岡山市に住み続けたい外国人市民の割合(%)	83.1	R2	86.8	88	○	外国人総合相談窓口の開設や日本語教室等による外国人市民への支援を行い、多文化共生の環境づくりに努めており、基準値から上昇しているものの、平成30年の豪雨などの災害や新型コロナウイルス感染症の拡大といった生活に密着した課題が生じており、外国人市民へのよりきめ細やかな支援が求められている。目標値の達成を目指して、引き続き、事業を推進していく。
19 人権	①人権問題に関する講演会・研修会などに参加したことがある市民の割合(%)	45.9(H25)	H30	41.3	47(H30)	×	人権問題に関する講演会や研修会への参加経験について、PTA研修など学校での講演会や研修会に参加との回答が一番多いが、前回の回答より5.8ポイント下回っているのが、目標値を達成できなかった理由と考えられる。20～30歳代の参加率が低いので講演会や研修会に参加してもらうよう啓発に努める。

《評価基準》◎目標達成 ○上昇 △横ばい ×低下 ※目標達成により目標値を見直した指標は、◎目標達成として評価



# 岡山市第六次総合計画 前期中期計画の取組状況⑦

## 将来都市像Ⅲ 全国に誇る、傑出した安心を築く「健康福祉・環境都市」

政策	指標名(単位)	基準値(H27)	実績値		目標値(R2)	達成状況	コメント
			年	値			
20 健康	①健康寿命(歳) 上段:男性 下段:女性	71.6 73.4 (H25)	R1	72.2 74.9	72.2 75.3 (R1)	○	運動、栄養・食生活、社会参加の3つを柱とした健康づくり活動に総合的に取り組んだ。中でも、健康無関心層を含めた健康づくりのきっかけとなった健康ポイント事業や、ええとこ発見図などを活用した市民との協働による健康づくり活動等に取り組んだ結果、男性については目標値の水準に到達、女性については、目標値の水準には到達していないものの前回の実績値より伸びている。今後は、地域に加え職域との連携も図りながら、市民の健康的な生活の習慣化に向け取り組む。
	②生涯現役応援センターに活動希望の登録を行った高齢者数(人) 上段:旧事業 下段:新事業	61 -	R2	- 616	660(旧) 590(新)	◎	旧事業については、基準値から順調に増加して推移したが、令和元年7月末で新事業へ移行した。令和2年度上半期は、新型コロナウイルス感染症の影響によるセンターの閉鎖により登録者数が伸び悩んだが、下半期は適職診断フェアなど効果的なPR活動を実施することにより、登録者数は増加に転じ、目標値に達した。
21 医療・介護	①かかりつけ医がいる市民(60～80歳代)の割合(%)	63 (H24)	R1	77.1	70 (R1)	◎	意識調査の集計方法を変更したため単純比較はできないものの、出前講座等の啓発活動により、かかりつけ医の意義を周知できている。
	②生活・介護支援サポーター養成数(人)	822	R2	1,465	1,550	○	平成30年度までは6福社区ごとに広範囲にわたり受講者を募集していたが、受講後に活動実践につながりにくかったという状況を受け、令和元年度からはエリアをしぼる形で会場も市民に身近な公民館で実施することとした。その結果、受講者は減少して目標を達成することはできなかったが、地域の受講者同士の仲間づくりが進み、活動実践者の増加につながった。引き続き、支え合い推進員を中心に関係機関と協働し、担い手を養成するとともに活動できる場へ結びつくよう支援を強化していく。
	③認知症サポーター数(人)	28,924	R2	55,250	58,000(新) 49,000(旧)	◎	認知症サポーター数については、令和元年度に目標値を達成したため上方修正したが、令和2年度の養成数は大きく減少しているため見直し後の目標値は未達成となっている。令和元年度末から令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、集合型の講座は、緊急事態宣言中は中止せざるをえなかったこと、感染症対策の影響により受講人数の制限をしたことも減少の要因となっている。
22 福祉	①障害者の福祉施設から一般就労への移行者数(人)	86	R2	156	152(新) 120(旧)	◎	就労移行支援事業所の活性化・関係機関の連携促進等により、移行者が年々増加し、平成29年度で目標値に達したため、見直しを行い上方修正した。直近2か年の増加傾向は鈍化したものの、見直し後の目標は達成している。
	②就労支援を行った生活保護受給者数(人)	833	R2	825	860	×	「ジョブ・サポート・スペース」の活用が進み、平成28・29年度と目標値に向け支援数が増加した。順調に支援が進んだことで、平成30年度には一般就労を目指す者への支援は落ち着いた状態となった。平成30年度以降、目標値は達成しなかったが、平成30年度中盤からは一般就労を目指す前の段階である者への就労意欲の喚起や就労体験などの就労準備、一般就労が難しい者への多様な働き方支援に力を入れ、より手厚い支援が必要な者へ支援を拡充している。
	③就労支援を行った生活困窮者数(人)	144	R2	389	205(新) 170(旧)	◎	「岡山市寄り添いサポートセンター」の周知が進み、就労支援数は平成28・29年度の2年連続で目標値を上回った。平成30年度から上方修正し、令和元年度には見直し後の目標を達成した。令和2年度は、コロナ禍の長期化により収入が減少したり職を失ったりして生活に困窮する者が増えた影響で、目標値を大きく上回った。

〔評価基準〕 ◎ 目標達成 ○ 上昇 △ 横ばい × 低下 ※ 目標達成により目標値を見直した指標は、◎ 目標達成として評価

# 岡山市第六次総合計画 前期中期計画の取組状況⑧

## 将来都市像Ⅲ 全国に誇る、傑出した安心を築く「健康福祉・環境都市」

政策	指標名(単位)	基準値 (H27)	実績値		目標値 (R2)	達成 状況	コメント
			年	値			
23 防災・減災	①下水道浸水重点対策整備率(%)	20	R2	46.1	53	○	関係機関との調整および用地交渉に時間を要し一部事業に遅れが発生したため、目標達成には至らなかった。今後は、目標達成に向け着実に整備を進めていきたい。
	②住宅・建築物等の耐震化率(%) 上段:住宅 下段:避難路沿道建築物	83 87	R2	88 91	95 95	○	5年間で基準値から着実に増加したが、目標値には届かなかった。耐震化率を向上させるためには、建物所有者が耐震改修や建替えなどを行う必要があるため、所有者に対して引き続き耐震化の重要性や補助制度活用などの周知啓発を図り、耐震化率の向上に寄与したい。
	③水道の基幹管路(口径400mm以上)の耐震適合率(%)	41.8	R2	47.5	45.8	◎	水道管路の計画的な更新及び耐震化を実施し目標値を達成した。今後も計画に基づき着実に耐震化事業を推進する。
	④市中心部の下水道管きよの老朽化点検率(%)	30	R2	83	71	◎	目標達成に向け整備を着実に進めている。
24 地域防災	①自主防災組織率(%)	62.4	R2	94.1	100(新) 75(旧)	○	平成30年7月豪雨災害を教訓として、防災・減災対策に欠かすことのできない地域防災力(共助)を強化するため、令和元年度初期に目標値を上方修正した。令和元年度は自主防災組織に関する地元への丁寧な説明や活動に対する助成制度の見直しによって指標は上昇傾向にあるものの、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で組織の結成に向けた地元の地域活動等の取り組みが進まず、見直し後の目標は達成できなかった。
	②住宅用火災警報器の設置率(%) 上段:設置率 下段:条例適合率	67.7 53.8	R2	81.5 69.9	85 70	○	消防職・団員による戸別訪問での対面型指導の効果で、基準値を大きく上回ったものの、令和2年度中は新型コロナウイルスの影響により当事業を実施できなかった。このため、最終年度の実績値の伸びが鈍化し、いずれの指標も目標値にわずかに届かなかった。しかしながら、全国平均値の推移(平成27年から5年間で2ポイント未満の上昇と高止まりしている。)と本市の実績値を比較すると、これ以上顕著な上昇は見込めない状況であると分析されるとともに、目指すべき水準に概ね到達したものと評価することができる。今後は、設置義務化から10年が経過し、電池切れ・故障等による作動不良が危惧されることから、維持管理に重点を置いた指導・広報にシフトし、点検実施率の向上を目指す。
25 市民生活	①安全・安心な地域社会と感じる市民の割合(%)	82.0	R1	79.9	88(新) 86(旧) (R1)	×	各施策の実施を通し、地域防犯力の強化と交通安全対策の推進を進めていたが、新たな手口の特殊詐欺の被害が発生するなど、市民の不安が増大したと考えられ、令和元年度は基準値よりも下がったと考えられる。今後も社会情勢に合わせた広報啓発活動を実施していく。
	②刑法犯認知件数(件)	7,186	R2	3,951	5,000(新) 5,500(旧)	◎	地域防犯ボランティア支援事業、防犯灯設置支援事業、特殊詐欺等被害対策電話機設置支援事業などを通し、地域の自主防犯意識の浸透が進み、目標を達成できたと思う。

《評価基準》◎目標達成 ○上昇 △横ばい ×低下 ※目標達成により目標値を見直した指標は、◎目標達成として評価

# 岡山市第六次総合計画 前期中期計画の取組状況⑨

## 将来都市像Ⅲ 全国に誇る、傑出した安心を築く「健康福祉・環境都市」

政策	指標名(単位)	基準値 (H27)	実績値		目標値 (R2)	達成 状況	コメント
			年	値			
26 環境活動	①ホタルの生息地(地点)	200	R1	207	200 (R1)	◎	令和元年度はホタルの生息情報の収集依頼先を子供から自然保護意識の高い大人に変更することで、数値上昇に転じ、目標達成した。隔年調査であったため、令和2年度は調査せず。本指標は限られた地区でのホタルの保護活動に係るものであり、市域全体の施策の効果と結びつきにくいという課題があったため、後期中期計画の推進に当たっては、指標を「身近な生きものの里認定地区数」に変更した。
	②多様な主体による自然体験プログラム開催数(回)	420	R2	239	450	×	令和2年度は新型コロナウイルス感染予防のため、開催を中止したプログラムが多く、目標値の達成はできなかった。後期中期計画の推進に当たっては、より実情を表し、施策の効果と結びつく指標とすべく「開催数(回)」から「参加者数(人)」に変更した。
	③美化推進重点区域内のごみのポイ捨て数(1主要通り当たりの1日平均)(個)	106	R2	75	100	◎	基準値から微増傾向にあったが、令和元年度から減少に転じ、令和2年度ではさらに大きく減少した。これは新型コロナウイルスの影響による人流の減少による影響と考えられる。人流回復後も増加しないよう、民間企業と協力し店頭回収を拡大するなど、さらなる減少に取り組む。
27 低炭素	①温室効果ガス排出量(千t-CO <sub>2</sub> )	6,476 (H25)	R2	5,850 (H30暫定)	6,000 (H30)	◎	市内の住宅や事業所等において、太陽光発電システム等の設置による再生可能エネルギーの導入や、LED照明設備等の導入による省エネルギー化が進んだことにより、目標を達成したと考える。
	②環境にやさしいライフスタイルの実践度(%)	46	R1	49	56 (R1)	○	令和元年度時点で、基準値からは上昇しているものの、目標は未達成。これは、市民等への普及啓発が不十分であったためと考えている。今後も、啓発活動の内容を継続的に見直ししながら、より効果的な普及啓発に取り組んでいく。
28 循環型社会	①ごみの資源化率(%)	22.7	R2	27.8	28	○	基準値から増加傾向にあるものの、令和元年度以降、コロナウイルスの影響により、町内会等の実施する集団回収が減少したことから目標値にわずかに届かなかった。引き続き民間企業と協力し店頭回収を拡大するなど、さらなる資源化に取り組む。
	②市民1人1日当たりのごみ排出量(g)	837	R2	809	809	◎	家庭系ごみは減少または横ばい、事業系ごみが微増という傾向にあったが、コロナウイルスの影響による経済情勢の悪化により、事業系ごみが減少した影響が大きく、目標値を達成したが一過性のものである可能性が高い。引き続き正しい分別と捨てる前の減量についての啓発をさらに進めていく。
	③汚水処理人口普及率(%)	80.9	R2	84.7	85	○	・毎年の合併処理浄化槽の設置基数の増加により、汚水処理人口普及率の目標値にほぼ達した。(環境局) ・工事発注量の減により目標達成には至らなかった。今後は発注効率向上に努め着実に整備を進めていきたい。(下水道河川局)

《評価基準》◎目標達成 ○上昇 △横ばい ×低下 ※目標達成により目標値を見直した指標は、◎目標達成として評価

# 岡山市第六次総合計画 前期中期計画の取組状況⑩

## 都市経営

政策	指標名(単位)	基準値 (H27)	実績値		目標値 (R2)	状況	コメント
			年	値			
29 等 創 生	①岡山市に住み続けたいと考える市民の割合(%)	79.2	R1	79.0	85 (R1)	△	目標値の達成には至らなかったが、人口等縮小傾向にある日本の状況において基準値を概ね維持しているという実績は、各施策の効果により都市機能の維持・向上が図れたと考える。
30 行 財 政 運 営	①実質公債費比率(%)	9.5	R2	5.4	9%台	◎	市債借入額(臨時財政対策債等の元利償還金の全額が地方交付税に算入されるものを除いた通常分)を200億円程度に抑制するなどの効果により目標を達成。
	②行政窓口の充実に対する満足度(%)	18.7	R1	44.6	25 (R1)	◎	市民サービス窓口・拠点の整備は、令和元年8月に定めた個別施設計画に基づいて整備を進めており、今後も効率・効果的で持続可能な市民サービスの提供体制を構築していく。また、市税や国民健康保険料のコンビニ納付の開始及びマイナンバーカードを利用した住民票の写し等の証明書のコンビニ交付件数も年々増加したこと等により、目標を達成することができたと考える。
	③岡山市役所の管理職に占める女性の割合(%)	8.4 (H27.4.1)	R2	15.0 (R3.4.1)	14 (R3.4.1)	◎	女性職員の積極的な登用に取り組んだ結果、目標を達成した。引き続き、新たな目標の達成に向け、女性職員の積極的な登用に取り組んでいく。
	④広報・広聴、情報公開、市民参加の推進に対する満足度(%)	13.1	R1	41.7	18 (R1)	◎	広報紙の全面カラー化やLINEの活用などにより、満足度が向上した。引き続き、情報発信力向上に取り組んでいく。

《評価基準》◎目標達成 ○上昇 △横ばい ×低下 ※目標達成により目標値を見直した指標は、◎目標達成として評価

### ●拠点性をいかした企業立地の推進

- ・本社・中四国支店等誘致をはじめとする各種補助制度の創設によるインセンティブ付与
- ・空港南産業団地の整備による企業立地 等

⇒ 市内企業立地の件数・新規常用雇用者数・投資額

22件・485人・217.6億円（平成23年度～平成27年度）

→ 66件・892人・645億円（平成28年度～令和2年度）

### ●創業しやすい環境づくり

- ・スタートアップ支援施設「ももスタ」の開設

### ●魅力と賑わいのある中心市街地の創出（歩いて楽しいまちづくり）

- ・路面電車の乗り入れを含めた駅前広場整備事業 ・県庁通りの再整備（一車線化）
- ・緑のボリュームアップ ・岡山芸術交流 ・岡山芸術創造劇場整備事業 等

### ●持続可能な公共交通ネットワークの再構築に向けた取組

- ・法定協議会の開催（バス路線の再編、運賃割引（高齢者・障害者）、都心の運賃適正化に向けた協議・検討）

### ●周辺地域における生活交通の確保

- ・市内6地区（令和3年1月現在）でデマンド型乗合タクシーを導入

### ●国内外の人を惹きつける観光・交流の推進

- ・日本遺産「桃太郎伝説」認定 ・造山古墳ビジターセンター設置
- ・ESDに関するユネスコ世界会議、日中韓3か国地方政府交流会議、G20保健大臣会合 など

→ コンベンション参加数 152,296人（平成27年度）→ 162,348人（令和元年度） ※14,810人（令和2年度）

外国人延べ宿泊者数 85,274人（平成27年度）→ 206,591人（令和元年度） ※26,903人（令和2年度）

### ●仕事と子育ての両立のための基盤整備

#### 【幼児教育・保育の充実】

保育の受け皿 14,574人（平成28年4月1日）→ 20,871人（令和3年4月1日）

入園申込児童数 16,318人（平成28年4月1日）→ 18,875人（令和3年4月1日）

待機児童数 729人（平成28年4月1日）→ 31人（令和3年4月1日）

→ 保育の受け皿整備に加えて、保育士確保に向けて民間保育士の処遇改善等を実施

#### 【放課後児童クラブの運営見直し】

保護者が安心して仕事を続けるためには放課後児童クラブの安定的な運営体制が必要

→ 令和4年度までに放課後児童クラブを市立クラブとし、サービスや利用料金を平準化（令和3年4月までに87クラブのうち、43クラブを市立に移行）

### ●女性が活躍できる社会づくり

・「隼より始めよ」の精神で庁内の女性が輝く環境づくりを推進

→ 岡山市役所（全職員）の管理職に占める女性の割合 8.4%（平成27年4月1日）→ 15.0%（令和3年4月1日）

### ●主体的な学びの推進による学力の育成

・思考力・判断力・表現力等を問う「活用」に関する問題の無回答率が全国平均を上回る

→ 岡山市独自の学力調査（学力アセス）を実施し、その結果を活用した授業改善を実施

→ 全国学力・学習状況調査の偏差値 小6 国語：50 算数：50（平成27年度）→ 国語：51 算数：50（令和元年度）

中3 国語：48 数学：48（平成27年度）→ 国語：50 数学：50（令和元年度）

### ●問題行動等の防止及び解決

暴力行為（中学校1,000人当たり） 18.0件（平成27年度）→ 12.7件（令和2年度）

不登校（小学校） 0.57%（平成27年度）→ 1.14%（令和2年度） → 小・中学校の連携強化、不登校児童への早期対応を実施

### ●ESD活動の拡大とSDGsの推進

「SDGs未来都市」に選定（誰もが健康で学び合い、生涯活躍するまち岡山）

### ●健康寿命の延伸に向けた健康づくりの推進

- ・健幸ポイントプロジェクトにより運動等の取組が健康づくりに寄与（BMI値、メタボの減少及び医療費抑制効果）
- ・健康ポイント事業（おかやまケンコー大作戦）にSIB（ソーシャルインパクトボンド）を活用（令和元年度～）
- ・生涯現役応援センターを設置し、高齢者の就労やボランティア活動等の生きがいづくりに寄与
- ・2030年の岡山の保健医療のあるべき姿を宣言としてまとめた「PHO（ポジティブ・ヘルス・オカヤマ）」を策定 等  
→ 健康寿命 男性71.6歳 女性73.4歳（平成25年） → 男性72.2歳 女性74.9歳（令和元年）

### ●平成30年7月豪雨等を踏まえた防災・減災対策

#### 【地域防災力の強化】

- ・身近な組織である町内会単位で地域における「共助」の要となる自主防災組織の結成促進
- ・自主防災組織結成促進のための各種助成制度を創設及び拡充  
→ 自主防災組織活動カバー率 64.5%（平成30年4月） → 94.1%（令和3年4月）

#### 【災害に強いまちづくり】

- ・浸水被害の著しかった3排水区（今保、津島、横井）を下水道整備の重点地区に追加
- ・事前に豪雨が予測される場合の事前水位調整を行う区域拡大などの見直しを実施

### ●低炭素型の環境にやさしいまちづくり

- ・温室効果ガス排出削減に向けた「世界首長誓約／日本」への署名
- ・2050年二酸化炭素排出実質ゼロ宣言
- ・ごみ処理施設の再生可能エネルギーの活用に向けた検討（新庁舎等の公共施設）

区づくりの将来目標

**自然と共生し、歴史と文化が薫る 賑わいと交流のまち 北区**

総括

**方向性 1 まちなかの魅力と賑わいの創出**

西川緑道公園周辺における市民主体となったパフォーマー事業や歩行者天国などの定期的なイベント開催や岡山城周辺の旭川を中心とした賑わいの拠点づくりとともに旭川の水面を活用した賑わい創出を図る社会実験の実施、商店街の活性化事業への支援等により、まちなかの魅力アップや賑わい創出につながっている。県庁通りについては、快適な歩行空間の創出に向け、車道を1車線化し歩道を拡幅する工事を施工中であり、沿道組織とともに拡幅した歩道をオープンカフェ等で利活用するための仕組みを作ることや、まちづくりの活動を通じて核となる人材の発掘・育成を今後も継続して進めていく。併行して、美化推進重点区域・路上喫煙制限区域での巡回指導や広報・啓発活動を継続して実施しており、まちなかの美化を進めている。今後もまちなかの魅力や回遊性向上、賑わいの創出を図るとともに、美しい快適なまちづくりに向けた取り組みを地域住民との協働により進めていく。

**方向性 2 農村部、中山間地域の活性化**

就農相談や関係機関と連携した研修事業の実施、就農直後の経営に資する資金や設備投資に関する補助金の交付、地域の水路・農道等の維持管理に関する共同活動への支援、また、農用地の保全と生産性向上のための基盤整備等の実施により、新規就農者の確保と農業者の営農継続等につながっている。農業従事者の高齢化や減少が進む中、担い手の確保や育成、農業者団体等による農産物ブランド化の取組、農業経営力の向上などに向けた支援を実施していく必要がある、今後も農業を継続できる環境づくりと地域特性を生かした競争力の強化に取り組んでいく。

また、計画期間において、御津地域、建部地域、牧山地区で延べ12人の地域おこし協力隊がさまざまな取り組みにより地域活性化に向けて活動し、期間満了後に活動地域に定住するなど地域活性化に貢献してきた。今後も中山間地域等への人材の誘致及び地域住民との協力による地域活性化の促進に向けた支援を継続していく。

さらに、地域の課題解決に向けコミュニティビジネスの視点から取り組む活動に対する支援として、地域の未来づくり推進事業を進め、制度説明のためのワークショップ等の開催や計画検討のための個別相談などを行った。今後も地域住民等の地域の未来づくり計画作成に対し、必要な支援を行っていく。

**方向性 3 企業立地の推進**

本市が持つ優れた交通網による拠点性の高さや災害リスクの低さ等を活かして、県と共同による空港南産業団地整備を行い、令和元年には企業3社の立地が決定した。また、企業本社、中四国支店などの広域的営業拠点等の立地を進めた。今後も若者を中心とした人材の首都圏等への流出を防ぎ市内への定着を図るため、企業ニーズを的確に把握しながら、広域的営業拠点など事務系職種の新たな雇用創出や、拠点強化を図る市内既存工場等の設備投資等への支援を引き続き進めていく。

あわせて起業家やベンチャー企業が創業しやすい環境づくりを進めていく。

**方向性 4 歴史・文化など多様な地域資源の再認識と活用・発信**

岡山城周辺の歴史文化ゾーンを主会場として平成28年及び令和元年に、現代アートの国際展「岡山芸術交



流」を開催した。令和元年の「岡山芸術交流 2019」には県内外から約 31 万人の来場者があり、小中学校へも広く呼びかけたところ、76 校約 4,800 人が来場し、鑑賞・体験の充実を図ることができた。また、岡山城と岡山後楽園との連携による烏城灯源郷と幻想庭園の同時開催や岡山城の常設展示の充実やワークショップ、歴史講座などを行い、観光施設の魅力アップを図っている。さらに、各地域の埋もれた歴史資源を再認識し、市民や観光客が歴史・文化に触れる機会を増やす岡山歴史のまちしるべの設置事業については、地域の団体からの提案等により北区では 85 基を設置した。

今後も、岡山連携中枢都市圏の市町をはじめとする他都市との連携や、各種メディア（SNS、フリーペーパー、旅行雑誌など）を利用して岡山城、岡山後楽園を中心とする歴史・文化ゾーンや日本遺産「桃太郎伝説の生まれたまち おかやま」と連携した吉備路等の岡山を代表する地域資源を国内外に発信するとともに、地域への愛着や誇りの醸成を図る取組を進めていく。

区まちづくり独自企画事業として、北区の隠れた魅力を掘り起こし、多様な地域資源を再認識することにより地域活性化のきっかけづくりとなることを目指し、令和元年度に「岡山市北区の隠れた名所発見コンテスト」を開催し、コンテストの応募作品をもとに、名所発見マップを作成し、令和 2 年度に「岡山市北区の歴史と文化を巡るウォーキング」を開催した。今後も地域の歴史や文化・自然などの地域資源を活用し、地域の特色や魅力を生かしたまちづくりを推進していく。

#### **方向性 5 まちなかから中山間地域まで、地域特性に応じた交通利便性の向上**

自転車利用環境の向上に向けた中心部における自転車通行空間の整備や中心部にアクセスする路線の検討、コミュニティサイクル「ももちやり」の利用促進、中心部における駐輪場整備等の各施策を進めてきた。

路面電車の岡山駅前広場への乗り入れについては、平成 28 年からレイアウト案について関係者等と協議しながら検討を進め、平成 30 年にはレイアウト案が確定するとともに、令和元年度は、岡山の顔としてふさわしい駅前広場のデザインの決定、都市計画決定や環境影響評価、軌道特許の手続き等を経て事業化したところであり、引き続き事業を進めていく。

また、鉄道については、桃太郎線 L R T 化の検討や駅前広場等の交通結節点による鉄道利用環境の改善に取り組んできた。

さらに、地域における生活交通の確保について、公共交通の利用が不便な地域のうち、御津・建部コミュニティバスについては、利用を促進するため運行改善を行った。足守生活バスは、令和元年度から車両 2 台体制での本格運行に移行した。デマンド型乗合タクシーの運行については、馬屋上・野谷、牧山地区での試験運行を始めるなど、目標を上回る地区で生活交通を導入した。今後も公共交通の利便性の向上に取り組んでいく。

#### **方向性 6 持続可能で活力のある地域づくり**

令和 2 年度においては、新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受けたものの、各地域において区づくり推進事業や安全・安心ネットワーク支援事業等を通じて区民の自主的・主体的な地域活動が行われている。また、地域の特性をいかした健康づくり活動などを通じて持続可能な地域づくりを進めている。このような地域における主体的な活動が持続可能なものとなるよう、引き続き担い手の育成や活動経費の一部助成などさまざまな支援を行っていく。

#### **方向性 7 連携・協働による防災・減災、防犯力の高い地域づくり**

地域における防犯・防災活動の担い手不足が課題となっている中、防犯・防災意識の高揚を図るため、出前講座の実施、洪水・土砂災害ハザードマップや土のう袋等の配布、地域防犯ボランティア団体への活動の支援、自主防災組織の結成促進及び活動活性化などに取り組んでいる。

浸水対策におけるハード整備については、平成 30 年 7 月豪雨災害を踏まえ、今保ポンプ場等の整備工事に着手するなどの浸水対策、天瀬ポンプ場等の長寿命化工事など下水道施設の長寿命化、耐震化を図るとともに道路防災危険箇所の調査を進めている。今後も計画的なハード整備を実施していく。

また、防災・減災に関しては、近年頻発している集中豪雨等により、旭川、笹ヶ瀬川流域における浸水被害、丘陵部における土石流やがけ崩れなどの土砂災害が発生する恐れがあることから、災害に備え、地域の避難体制の構築や防災訓練の実施などに取り組み、地域の防災活動を活性化させていく。

区づくりの将来目標

**ふれあいと活気にあふれ、快適で住む喜びに満ちたまち 中区**

総括

**方向性 1 交通利便性の向上**

都心部への交通アクセス性向上や区内の各地域間の円滑な移動確保のため、都市計画道路下中野平井線（中環状線）、主要地方道岡山赤穂線（外環状線）等の幹線道路の整備を進めてきた。また、サイクル&バスライド駐輪場の整備や、低床バスの導入補助を行い、バス利用環境の改善を図った。

岡山市総合交通計画を基に、鉄道やバスの利用環境改善など公共交通の利便性向上に向け、引き続き取組を進めていく。

また、自転車通行空間の整備については、自転車利用環境の改善に向け、中心部にアクセスする路線の検討を行っている。

**方向性 2 豊かな自然環境の保全・継承**

区民参加のホタル調査や保護団体等と連携したアユモドキの保護・啓発活動を実施するとともに、生物多様性の保全活動を推進するため、「身近な生きものの里」として認定している高島・旭竜、曹源寺、今谷の3地域の住民主体の自然保護活動を支援した。

また、操山公園里山センターの講座等や公民館とのタイアップによる自然体験エコツアーの実施など、地域の生態系や自然環境を守り継承する取組は着実に進んでいる。

**方向性 3 地域資源の活用と発信**

区づくり推進事業などを通じて、区民の創意工夫による各地区の特性を生かした地域づくりや、地域の歴史や特産物、文化の発信が進んでいる。

「倉安川・百間川かんがい排水施設群」が世界かんがい施設遺産として令和元年9月4日に登録されたことを受け、案内看板を設置した。また、地域の埋もれた歴史資源を紹介する「岡山歴史のまちしるべ」設置事業により、地域団体からの提案を受け5年間で新たに10基の案内看板を設置するなど、地域資源の活用と発信に向けた取組が広がっている。

**方向性 4 多世代の交流・協働による地域づくり**

区づくり推進事業や安全・安心ネットワーク支援事業を通じて、区民の主体的な地域交流・自主的な地域活動を支援するとともに、地域活動への参加促進に向け、若者を対象とした地域応援人づくり講座を実施するなど、コミュニティの活性化を着実に進めている。

また、区独自に山陽学園大学・短期大学及び就実大学・短期大学と締結した包括連携協定をもとに、大学が有する高い専門性の地域振興への活用や、若年層の地域づくりへの参加促進等を進めているところである。引き続き、大学と協力して活力ある地域づくりを推進していく。

平成30年度より区独自事業として、大学との包括連携協定に基づき、大学の教員と学生による、高齢者への健康・栄養指導相談を公民館で実施し、学生の地域活動への参加や高齢者との交流を推進することができた。令和元年度までの実施場所は5か所であったが、令和2年度は区内全中学校区の6か所で実施することができた。

一方で、いずれも令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、参加人数等が減少している。

## **方向性5 地域住民の手による防災・防犯力の向上**

自主防災組織に対する活動費用の助成や地域防災マップ作成支援、防災まちづくり学校等を開催しての地域防災リーダーの育成や出前講座の実施等により、住民の防災意識や地域の防災力の向上を図った。

さらに、浸水対策として、倉安川等の河川改修工事や用排水路の浚渫・改良工事等のハード事業を進めるとともに、用水路の事前水位調整や町内会への可搬式ポンプの貸与や町内備蓄土、洪水・土砂災害ハザードマップ等の配布を行った。

また、地域防犯についても、防犯ボランティアを対象に指導や講習等の支援を行うとともに、防犯灯・防犯カメラを設置する町内会等への費用助成を実施しており、地域住民の手による防災・防犯力の向上は着実に進んでいる。

## 区づくりの将来目標

## いつまでも住み続けたい 歴史が息づき愛着の持てるまち 東区

## 総括

**方向性 1 地域資源をいかした魅力と賑わいづくり**

昭和レトロな街並みが残り映画やテレビのロケ地としても注目を集める西大寺五福通りを舞台とした西大寺五福通りレトロ・マルシェや、まちの風物詩として定着した西大寺朝市などのイベント開催などの支援を行ったが、令和2年については、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた。今後、価値観の変化やデジタル化の進行などによる観光ニーズの多様化に合わせて、幅広い需要に対応するため、地域資源の魅力の向上と賑わいの創出を図っていく。

また、国指定重要無形民俗文化財である西大寺会陽のHPによる情報発信支援や多言語化支援、地域の歴史・文化の由来等を顕す統一的なデザインの案内看板「岡山市歴史のまちしるべ」を設置することで市民の郷土への愛着や誇りの醸成を図るとともに、地域資源の魅力を積極的に情報発信した。平成30年度より、身近なまちづくりや地域課題の解決に取り組むために、区の地域資源や特色を活かしたまちづくりの推進のため、区まちづくり独自企画事業を行った。引き続き地域の声を反映し、地域資源の魅力の向上と賑わいの創出を図っていく。

**方向性 2 多世代が交流・活動できる地域づくり**

地域が主体となって独自の企画により行われた地域づくりの取組に対して支援を行い、地域の自治組織と学校や事業者の連携や、幼から老まで多世代の交流など、地域ぐるみの活動を促進することができたが、令和2年については、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた。千種学区で活動する地域おこし協力隊による取組は、平成30年度から令和2年度まで3年の任期期間中、野菜販売、販売支援、情報発信など地域活性化に寄与した。また、平成30年度より、地域の課題解決に向けコミュニティビジネスの視点で取り組む、多様な主体による活動に対する支援「地域の未来づくり推進事業」「中山間・周辺地域等稼ぐ力創出事業」の計画作りに向けた地域からの相談を通じて新たな取組を行っている。今後もこれらの地域主体の取組が途切れることのないよう支援しながら新たな担い手の確保・育成を図っていく。

**方向性 3 企業立地の推進と持続可能な農業の振興**

優位性をいかした企業誘致を図るため、瀬戸インターチェンジ周辺等の農地の利用について、国への政策提言・要望を行った。

持続可能な農業の振興を図るため、農業の担い手確保・育成に努めるとともに、経営力の強化を目的とした事業を行うことにより、引き続き「儲かる農業」の実現に向けて取り組んでいく。また、農業水利施設の改修や長寿命化を通じて、水利運用の省力化を図り、農業従事者の高齢化に対応する。

**方向性 4 交通利便性の向上**

美作岡山道路のインターチェンジ部の切土工事等をはじめ、主要地方道岡山赤穂線における鉄道交差部の工事や、主要地方道西大寺山陽線における道路改良工事を進めるなど、各路線の整備に取り組んだ。

また、交通不便地域における日常生活に必要な移動手段の確保について、令和2年度から本格運行を始めた千種小学校区をはじめ角山小学校区、城東台・草ケ部地区においてもデマンド型乗合タクシーの試験運行を実施している。この取り組みについては、区民の関心が高まっており、地域が主体となって移動手段確保に取り

組む意向があるときには、その地域の住民と一緒に検討を行っていく。

#### **方向性5 健やかに暮らせる地域づくり**

地域の特性に応じたきめ細やかな健康づくりを進めるため、健康市民おかやま 21 推進会議の活動の充実を図るとともに、中学校区又は小学校区単位での組織づくりを進め、活動の活性化を図っている。

また、「ええとこ発見図（ウォーキングマップ）」を活用したウォーキング大会の開催や、おかやま西大寺マラソンなどのイベントの場も活用しながら、「OKAYAMA！市民体操」の普及、実施を継続している。これらの取組を通じ、今後も地域特性に応じた健康づくりの取組が充実するよう支援をしていく。

#### **方向性6 安全・安心な地域づくり**

国、県による吉井川、砂川の早期改修、海岸堤防の津波・高潮対策や耐震化を進めている。また浸水対策として江西小学校に雨水貯留槽タンクを整備した。地域の防災力向上のため自主防災組織等育成事業が拡充され、避難活動準備金助成など自主防災組織の結成促進、活動・運営に関する補助を行った。令和2年度に学区ごとの洪水・土砂災害ハザードマップを更新し各家庭に配布するとともに区役所などでも配布を行った。また町内会等へ真砂土及び土のう袋の配布、止水板設置の助成等にも取り組んだ。

また、区内での安全・安心ネットワークの活動の支援、防犯指導及び講座を行った。さらに、地域の要望に基づく通学路防犯灯の設置や、町内会が防犯灯・防犯カメラを設置する際の補助を行った。

区民の防災意識及び安全・安心なまちづくりに対する意識の向上に努め、今後も区民の主体的な活動を促進していく。

区づくりの将来目標

人・まち・自然が調和し、笑顔輝く実りのふるさと 南区

総括

**方向性 1 地域で取り組む防災・防犯対策の充実**

県による笹ヶ瀬川、足守川、倉敷川の河川改修事業の推進、市による芹川支川の河川改修や植松排水機場の整備、築港新町地区ほかの下水道雨水管渠整備等、ハード面での浸水対策を推進した。ソフト面では、雨水貯留タンクや止水板、雨水流出抑制施設の設置に対する助成を行った。

地域の防災力を高めるため、洪水・土砂災害ハザードマップ等の配布や出前講座の実施、また、防災資機材、地域防災マップへの助成を通じて自主防災組織の結成や活動の支援を行った。平成 30 年度には、「防災訓練ハンドブック」を作成し、町内会や自主防災組織等へ配布したほか、「防災専門家」の派遣、「防災グッズ」の貸し出し、防災イベント「イザ！カエルキャラバン in 岡山市南区」、「防災インストラクター養成講座」を実施した。

**方向性 2 活力のある農業の振興**

国、県や土地改良区等と連携して、老朽化した農業用施設の補修を着実に推進するとともに、建設から長年経過した広域農道である千両街道の整備を行うなど、農業用施設の長寿命化を進めた。また、就農相談や研修事業の実施、就農直後の経営支援等により新規就農者の確保を図った。鳥獣害対策については、防護柵等の補助及び猟友会への駆除依頼などの効果的な対策を実施した。

**方向性 3 多様な担い手の参加・協働による地域活動の活性化**

地域行事等に使用する備品の修繕や町内会活動の充実のための支援を通じて、地域住民の交流を促し、コミュニティ活動の活性化を図った。

地域住民が主体となった地域づくり活動に対しては、区づくり推進事業を通じて支援を行っており、子どもからお年寄りまでが参加できるイベントをはじめ、地元で採れた野菜のコンテストやお米をテーマにした祭りなど、地域資源の魅力を発信する多彩なイベントが行われ、地域内外の住民同士の触れ合いと絆づくりにつながった。また、SNS等を活用した情報発信を行い、幅広い層に対する地域活動への参加の促進を図った。

令和 2 年度においては、新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受け、事業実施件数は減少した。

**方向性 4 地域の魅力の発掘・発信**

国史跡に指定されている彦崎貝塚を後世に残すため公有化を行った。

区づくり推進事業を紹介するポスターを作成して周知を図るとともに、地域の伝統行事等の SNS 等を活用した情報発信や、昭和期と現在の風景を比較した今昔パネル展の開催、地域の歴史・文化の由来等を顕す看板「岡山歴史のまちしるべ」の充実により、南区ならではの魅力を区内外に向けて発信した。

**方向性 5 交通の利便性の向上**

主要地方道倉敷飽浦線の飽浦地内でバイパス工事を行い、離合困難な狭隘箇所の解消を図った。

外環状線の一部を構成する市道藤田浦安南町線や主要地方道岡山児島線等の幹線道路の整備を進めた。

迫川地区デマンド型乗合タクシーは、平成 30 年度から本格運行を開始したが、今後さらなる利用促進に向けて検討する必要がある。また、迫川地区以外の公共交通不便地域における日常生活に必要な移動手段の確保

についても、地域とともに検討していく必要がある。

#### **方向性6 健やかに暮らせる地域づくり**

ふれあいセンターや公民館を拠点として、ウォーキング大会や健康教室等、市民との協働による日常的な運動習慣の推進に取り組んだ。また、平成30年度には福田緑道の工事が完了し、広く市民の体力づくりや健康増進、憩いの場として活用されている。今後も、地域における自主的な健康づくりに向けた環境整備に取り組んでいく。